

# 群馬銀行のあゆみ

- 昭和7年 ●設立  
資本金580万円 総預金2,997万円
- 昭和16年 ●総預金1億円達成
- 昭和20年 ●空襲で本店焼失
- 昭和22年 ●初の県外店舗として本庄支店開設
- 昭和23年 ●資本金1億円に増資  
●東京支店開設
- 昭和26年 ●総預金100億円達成
- 昭和27年 ●前橋市本町に本店完成
- 昭和30年 ●商号を群馬大同銀行から群馬銀行に改称
- 昭和36年 ●外国為替業務取扱開始
- 昭和37年 ●総預金1,000億円達成
- 昭和41年 ●事務センタービル竣工
- 昭和43年 ●為替オンラインシステム稼働
- 昭和44年 ●東京証券取引所に株式を上場
- 昭和47年 ●現在の本店竣工  
●第1次総合オンラインシステム稼働
- 昭和48年 ●資本金100億円に増資
- 昭和51年 ●総預金1兆円達成  
●諸田頭取、地方銀行協会会長に就任
- 昭和53年 ●第2次総合オンラインシステム稼働
- 昭和57年 ●創立50周年  
●総預金2兆円達成
- 昭和58年 ●資本金205億円に増資  
●公共債の窓口販売業務開始
- 昭和59年 ●公共債ディーリング業務開始
- 昭和60年 ●ニューヨーク駐在員事務所開設
- 昭和62年 ●米ドル建転換社債発行(5千万ドル)  
●公募による5百万株の新株式発行  
●第3次総合オンラインシステム稼働  
●第1回無担保転換社債発行(200億円)  
●総預金3兆円達成
- 昭和63年 ●ニューヨーク支店開設

- 平成元年 ●公募による10百万株の新株式発行  
●第2回無担保転換社債発行(150億円)  
●香港駐在員事務所開設
- 平成2年 ●第3回無担保転換社債発行(500億円)  
●総預金4兆円達成  
●アムステルダム駐在員事務所開設
- 平成3年 ●群馬財務(香港)有限公司設立
- 平成4年 ●欧州群馬銀行設立  
●電算センター竣工  
●新企業理念シンボルマークの制定
- 平成5年 ●香港支店開設
- 平成6年 ●信託業務の取扱開始  
●信託代理店業務の取扱開始
- 平成7年 ●財団法人群馬銀行環境財団設立
- 平成8年 ●上海駐在員事務所開設  
●第4回無担保転換社債発行(500億円)
- 平成10年 ●店舗ネットワーク400カ店に到達  
●投資信託の窓口販売業務開始
- 平成11年 ●新勘定系システム稼働  
●関東地銀業務研究会の発足
- 平成12年 ●新営業店システムの全店導入  
●インターネットバンキング開始  
●ユーロドル建社債発行(2億ドル)  
●コンビニATM開始
- 平成13年 ●「新世紀 第一次中期経営計画」(*i*-PLAN)スタート  
●保険商品の窓口販売業務開始  
●確定拠出年金「企業型」の取扱開始
- 平成14年 ●創立70周年  
●確定拠出年金「個人型」の取扱開始
- 平成15年 ●「宝くじサービス」の取扱開始
- 平成16年 ●「新世紀 第二次中期経営計画」(R-PLAN)スタート
- 平成17年 ●ペイオフ対応「決済用普通預金」の取扱開始



設立当時の群馬銀行



旧本店（前橋市本町）